## 平成30 (2018) 年度

## 事業報告書

自: 平成 30年(2018年) 4月 1日

至: 平成 31年(2019年) 3月31日

社会福祉法人 まどか

理事長 神谷 和孝

## 社会福祉法人まどか 平成30(2018)年度 事業報告

1. 理事会の開催

2018年 5月26日(土) 2019年 3月17日(日)

2. 評議員会の開催

2018年 6月23日(土)

- 3. 定款の変更及び認可変更なし。
- 4. 指定

変更なし。

5. 施設整備

理事会および評議員会での議論を経て、法人の「中長期計画検討委員会」を設立。 理事会における「中長期計画」の承認を受け、2019年度より将来的な施設移転等 について、人材および財源確保を念頭に進めていくこととなった。

- 6.2018年度 社会福祉法人指導監査結果 2019年1月10日に実施され、以下の指摘を受けた。 なお、指摘事項については、対応済み。
  - ○文書指摘該当なし。
  - ○口頭指摘

◇法人運営に関すること・・・・・・ 3件

- ・評議員会の招集については、理事会の決議により評議員会の日時・場所・議題・ 議案を定めること。
- ・評議員会議事録については、出席した役員の名前、また議事録の作成に係る職務を行った者の名前を記載すること。
- ・理事会が監事の選任に関する議案を評議員会に提出するためには、監事の過半 数の同意を得ること。

#### ◇会計経理に関すること ・・・・・・ 1件

・経理規程等について、実態に合わせて改正し、理事会の承認を得ること。

#### 7. 施設運営(2018年3月末現在)

#### 利用定員

すみれ工房 1日当たり 20人 (小規模多機能型)

就労移行支援1日当たり6人就労継続支援 B型1日当たり14人

とまり木

地域活動支援センター 1日当たり 20人

#### ② 職員数

すみれ工房

管理者1名(常勤兼務)サービス管理責任者1名(常勤兼務)

就労移行支援

就労支援員1名(常勤)職業指導員1名(常勤)生活支援員1名(非常勤)

就労継続支援 B 型

職業指導員1名 (非常勤)生活支援員1名 (常勤)目標工賃達成指導員2名 (非常勤)

#### とまり木

地域活動支援センター

施設長 生活支援員 1名(常勤) 1名(常勤)、3名(非常勤)

#### ③ 主な年間行事

月	行事名
4月	観桜会
6月	親睦会(バーベキュー)、夏期販売促進事業(実施期間:6月~8月)
7月	三吉町東町内会夏祭り出店参加
8月	三吉町中之丁町内会夏祭り 出店参加、TLSF彩フェスタ 出店参加
9月	防災避難訓練、七夕杯ボウリング大会(日時振替実施)、利用者家族交流会
10 月	ふれあい福祉まつり 出店参加、福山平成大学学園祭(御幸祭) 出店参加、 『精神保健福祉を考える勉強会』講演会(共催、NPO法人ティファーレ主催)
11 月	冬期販売促進事業(実施期間:11月~12月)
12 月	利用者家族交流会、クリスマス会、大掃除・納会
1月	初詣、 『精神保健福祉を考える勉強会』講演会(共催、NPO 法人ティファーレ主催)
2 月	節分行事 (手巻き寿司)、防災避難訓練
3月	『精神保健福祉を考える勉強会』講演会(共催、NPO 法人ティファーレ主催)、 利用者家族交流会、スポーツ観戦
通年	産業カウンセラーによるカウンセリング、体力作り事業 (スポーツレクリエーション)、折り紙教室

#### ④ 役職員研修等(自主研修含む)

		I				
実施年月日	研修名 等	参加者				
2018年4月23日 就労継続支援A型事業所経営改善実態調査説明会および生産力向上セミナー						
2018年4月26日	2018年4月26日 NPO 法人 FDA 代表 成澤俊輔 講演会					
2018年5月11日	地域福祉貢献活動協議会 研修会	役員1名 職員1名				
2018年5月14日	「個別支援計画配慮型」工賃向上計画策定研修	職員1名				
2018年5月26日 ~ 5月27日	社会福祉士実習指導者講習会	職員2名				

2018年6月8日	地域福祉貢献活動協議会 研修会	役員1名 職員1名
2018年7月5日 及び 9月26日	福祉職員キャリアアップ(中堅)研修	職員1名
2018年7月24日 ~ 7月26日	事業所間交流研修	職員1名
2018年8月17日	一般校・支援校との情報交換会	職員3名
2019年8月30日	福山市障がい者総合支援協議会 研修会	職員1名
2018年9月5日 ~ 9月6日	広島県相談支援従事者(初任者)研修	職員1名
2018年9月8日	福山市医師会看護専門学校臨地実習指導者講習会	職員1名
2018年9月11日 ~ 9月12日	福祉職員キャリアアップ(初任者)研修	職員1名
2018年9月12日	社会福祉法人研修会	職員1名
2018年9月12日	「聞こえないってどういうこと?」 〜福山市こころをつなぐ手話言語条例〜	職員1名
2018年9月20日	医療観察制度地域連絡協議会	職員1名
2018年9月27日	就労支援研修会(手順書作成技能トレーニング)	職員1名
2018年9月28日	感染症予防研修会	職員1名
2018年9月28日	地域リハビリテーション研修会	職員2名
2018年10月7日	高次脳機能障害研修会	職員2名
2018年10月16日	精神保健福祉講演会	職員2名
2018年10月29日	障害者雇用企業等見学会・企業と支援機関の交流会	職員1名
2018年10月29日 ~ 10月31日	広島県相談支援従事者(初任者)研修	職員1名
2018年11月15日	人権擁護研修(障害施設編)	職員1名
2018年11月22日	精神保健福祉講演会	職員2名
2018年11月22日	広島県介護福祉士会第3ブロック夜間勉強会	職員2名
2019年1月15日	家族学習会 (講師派遣)	職員1名
2018年1月19日	権利擁護セミナー 親なき後の「成年後見制度」	職員3名
2019年1月24日	就労支援研修会(問題解決技能トレーニング)	職員2名
2019年1月24日	社会福祉法人理事・評議員研修	役員4名
2019年2月2日	福山市障がい者総合支援協議会 就労支援部会シン ポジウム	職員2名
2019年2月23日	クローバー研修会「災害時におけるシステムづくり」	職員1名
2019年2月23日	ひきこもり・不登校等支援団体合同説明会&講演会	職員3名

2019年3月14日	就労支援研修会(職場対人技能トレーニング)	職員2名
2019年3月15日	「私が伝えたいこと」石原郁郎 氏 講演会	職員1名
2019年3月22日	精神障害者の退院後支援に関するガイドラインについて	職員2名

#### ⑤ 関係団体との連絡会議等

福山市障がい者地域総合支援協議会(就労支援部会、地域生活支援部会)

福山・府中障害保健福祉圏域障害者就労支援ネットワーク会議 (委員会幹事委員会、就労支援部会、企画研修部会)

一般社団法人 トータルライフサポートふくやま

福山市社会福祉施設連絡協議会

福山市障害者(児)施設連絡協議会

福山小規模作業所連絡会

広島県精神障害者支援事業所連絡会

福山市地域福祉貢献活動協議会

#### 8. 実習受入れ等

・福山市医師会看護専門学校 第一看護学科 臨地実習 受け入れ期間:2018年5月23日~11月1日(計42名)

・チャレンジウィークふくやま2018 (職場体験) 受け入れ期間:2018年8月21日~8月24日(計4名)

· 広島県立福山北特別支援学校 高等部 職場体験実習

受け入れ期間: 2018年11月1日 $\sim$ 11月2日(計1名) 受け入れ期間: 2019年2月21日 $\sim$ 2月22日(計2名)

#### 9. 情報公開

法人ホームページおよび WAM NET (社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム)、 全国社会福祉法人経営者協議会の web ページにて法人の事業活動および財務状況を公開。 また、法人機関紙(年4回発行)と SNS(Facebook)にて活動状況を随時公開。

#### 10. 法人が実施している公益的取組について

2017年6月19日に発足した福山市地域福祉貢献活動協議会へ同年7月10日より参画。 2018年11月1日より「くらしの相談窓口」として多様な相談の受付を開始。

### 障害福祉サービス事業所 すみれ工房 平成30(2018)年度 事業報告

#### 利用実績および経営状況について

#### ○ 就労移行支援事業

今年度の利用状況は月平均利用契約者数においては 3.92 名と前年度より 1.50 名減となり、年間利用率では前年度と比較して 21.3 ポイントの減少の 40.5%となりました。今年度は法人内他事業からの移行や他就労支援機関からの紹介等、昨年度と同様に継続して新規利用者の確保を行う中で、新たに 2 名が一般企業へ就労され、昨年度後期に就労された 1 名を含めた 3 名の職場定着をすることができました。

また、ハローワークを始めとする他の就労支援機関との連携を継続し、前年度以前からの就労者も定着継続にも注力することができ、着実に実績を積み重ねることができました。

経営面では報酬改定により就労定着実績が基本報酬に組み込まれ加算が10月より廃止となり、利用状況の減少も重なったことで、昨年度の10,346,110円より4,612,140円減収の5,733,970円と単独での事業運営には厳しい結果となり、一定水準の就労実績を積み重ねるとの同時に、新規利用者の継続的な確保と年間を通じての安定的な利用促進という課題を残す形となりました。

月別の利用登録者および利用者	音数の推移 (人)	

	7 4 7 4 4	> 1 1 1 1 7 2 2 日 4 0	9 1 37 13 El 29	( - 1 H   /	
	契約者	延べ利用者	1日平均	新規契約者	退所者
4 月	5	70	3.50		1
5月	4	51	2.32		2
6 月	2	26	1.18		
7月	4	48	2.40	2	
8月	4	63	2.74		
9月	4	54 2.57			1
10 月	3	54	2.35	1	
11月	4	50	2.38		
12 月	4	54	2.57		
1月	4	49	2.23		
2月	4	48	2.40		
3 月	5	58	2.64	1	
計(平均)	47	625	2.44	4	4
前年度	65	961	3.71	4	6
前年比較	△ 18	△ 336	△ 1.27	0	$\triangle$ 2

※契約者の計は、各月1日現在での利用契約者数の合計

年間実利用契約者: 9名、月平均利用契約者: 3.92名

#### ○ 就労継続支援(B型)事業

今年度は、昨年度改善された利用状況を継続向上することができ、月平均利用契約者数においては26.42名と前年度より2.67名増、年間利用率では前年度と比較して11.9ポイント増加の86.6%となり安定的な事業運営を行うことができました。

大きな要因としては、昨年度から新規利用となられた方が安定的かつ継続的に利用されるようになったことに加えて、法人内の他事業から移行や他事業所からの紹介により新規利用となられた方あることが挙げられます。これは個別対応を基本とした活動への一定の評価を継続して得られている成果と考えています。

経営面においては、報酬改正により基本報酬が減額となるも利用契約者数および利用率の向上により、昨年度の17,936,150円より3,863,130円増収の21,799,280円と過去最高水準の事業収入となりました。また、本事業においても一般企業への移行促進を目的として加算が増額される中、1名がトライアル雇用に結びつくなど移行支援事業において蓄積されたノウハウを共有し活用することで成果を出すことができました。

月別の利用登録者および利用者数の推移	(人)
月 かいノイリカ 豆球石 やよ いれりカ 石 数 ソガエルタ	

	契約者	延べ利用者	1日平均	新規契約者	退所者
4 月	25	250	12.50		
5月	28	291	13.23	1	2
6月	27	306	13.91	1	2
7月	25	249	12.45		
8月	26	262	11.39		
9月	26	225	10.71	1	
10 月	26	281	12.22	1	
11 月	27	263	12.52		
12 月	27	263	263 12.52		
1月	27	254	11.55		
2 月	27	237	11.85		1
3 月	26	236	10.73		
計(平均)	317	3,117	12.13	4	5
前年度	285	2,708	10.46	11	4
前年比較	32	409	1.67	△ 7	1

※ 契約者の計は、各月1日現在での利用契約者数の合計

年間実利用契約者:31名、月平均利用契約者:26.42名

利用者の状況

(平成 31年(2019年)3月末現在)

男女比 障害種別(重複あり)								年齢	層				
男性	女性	身体	療育	精神	発達	他	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代 以上	平均 年齢
23	8	0	5	23	4	2	4	8	4	3	9	3	39.29

#### 就労支援および就労実績、生産活動について

#### ○就労移行支援事業

今年度も引き続き、利用者個々のニーズに特化した個別支援プログラムを中心とした 就労支援を実施しました。今年度は2名の方が一般企業での就労に繋がり、昨年度後期 に就労された1名を含めた3名が定着され、着実に実績を積み重ねることができまし た。従前の就労された方についても、これまでと同様に他就労支援機関との連携、就労 先の企業担当者との電話連絡・訪問による調整など、就労中の方との面談と併せて精力 的に活動することで定着維持を図る事ができました。

今年度は年間平均で 3.92 名と一定の利用者の確保を行うことができましたが、定員に対しては 6 割に満たない状況が続きました。

その一方で、事業開始以後では初めてとなる福山北特別支援学校で行われた福祉事業 所合同説明会へ同校からの要請を受け参加しました。以後、福山北特別支援学校および 在校生が利用されている放課後等デイサービス等からの見学希望や体験実習および利 用についての問い合わせが急増し、職場体験実習の受け入れを経て、今年度末には卒業 生1名の受け入れに至りました。

市内における就労移行支援事業の重要性を踏まえ、精神障害だけでなく多様な障害の受け入れをより円滑に行えるよう支援スキルの向上に一層取り組むとともに、当事業の活動を広く周知していくことで、安定的かつ効果的な事業継続を行っていきます。

#### ○ 就労継続支援(B型)事業

今年度の生産活動においては総支給額で 1,992,153 円と昨年度の 1,543,244 円と比較して 448,909 円の増額となりました。これは、昨年度後期に行った受託作業の整理・調整を行い、その後、継続的かつ安定的に活動を継続できたことが大きな要因です。加えて、従前からの作業科目についても受注量の増加と支援体制を見直したことで、より効率的な活動を行えたことが挙げられます。

平均月額工賃においても 8,699 円と昨年度より 944 円の増額となりました。昨年度は 就労支援事業収入の若干増額があるも支給対象者数の増加により平均月額工賃の減額 となりましたが、今年度は総支給額においても昨年度の 1,543,244 円から 448,909 円増額、支給対象者も述べ 30 人増となる中での平均月額工賃の増額となっており、実質的な工賃の向上を図ることができました。

引き続き、利用者個々の特性に配慮しつつ、効率的かつ効果的な支援体制の中で工賃の向上が図れるよう新規作業の検討も含め取り組んでいきます。

就労支援については、引き続き利用者個々の体調や希望に応じて取り組みました。そのよう中で、障害者トライアル雇用制度を活用して採用に至った方もあり、今年度の報酬改定においても加算増額という形で推進されている一般企業への就労についての取り組みも行うことができました。

今後も就労移行支援事業との差別化を念頭に、一般企業への就労または福祉的就労を希望される利用者や、今後の高年齢化に伴う生活課題についても医療機関や行政、相談支援事業所等との連携強化に引き続き取り組むとともに、法人内外における各種研修により、人材育成に取り組んでいきます。

# 地域活動支援センター とまり木 平成30(2018)年度 事業報告書

域活動支援センター とまり木 施設長 長谷川 徹

#### 1. 事業総括

引き続き当年度も、創作的活動、生産活動、社会との交流の促進等の事業を行うことにより、障がいの有無にかかわらず生活のしにくさを感じている当事者、家族のセーフティネットとしての生活訓練及び日中の居場所作りに貢献できたと判断いたします。

また、利用については医療機関、基幹相談支援センター、ハローワーク、相談事業所等からの問い合わせが増えています、福山市唯一のⅢ型地域活動支援センターとして障害福祉サービスを受けられない人たち(いわゆるグレーゾーンの人)の受け皿としての当事業の必要性が増している事を痛感します。来期も当事業所を利用し生活支援、相談、情報提供を行っていき利用者の社会復帰に貢献していきたいと思います。

#### ① 生産活動について

(株) (フルーツキャップ梱包)、ビッグベアー(制) (洋服ハンガー掛け)、内職市場(ねじワッシャー通し、ビーズ糸通し等)、(社)トータルライフサポートふくやま(清掃、各種スポット作業)、(株)ハッピーホーム(DM 封入)、草刈(地域の方々の自宅、あるいは共用の場の草抜き草刈)を行いました。(株)コバック(ボルト袋詰め作業)、岩瀬商店(株)(施設外作業・染料封入)を請け負うようになり、更に作業の多様性を図ることができました。今後も利用者の作業効果が高い品目を選定し作業参加できるように促していくことが重要と感じています。

#### ② 地域交流活動について

「すみれ工房」と協働し例年参加させていただいている「東町内会夏祭り」「中之丁町内会ふれ愛夏祭り」「ふれあい福祉祭り」に引き続き参加し地域交流を図っていきました。更に本年度も引き続き他トータルライフサポートふくやまが参画した多くのイベントへの参加を行い地域の方々との交流に貢献しました。

#### ③ 創作活動について

例年ご協力頂いている毎月第三土曜日の「折り紙教室」(高橋敏子先生)、毎週火曜日 「さをり織教室」(村田紀美子さん)を行い、利用者の創作意欲を刺激することができま した。

#### ④ 体力作りについて

例年行っている毎月の「障害者体育センターでのスポーツレクリエーション」を行ないました。

#### ⑤その他

レクリエーション及び社会資源利用の機会提供として、利用者主体により月1,2回程度「カラオケ(市内のカラオケ店利用)」「飲食店で食事」「ショッピングセンターでの買い物」「映画鑑賞(映画館)」等の地域における活動機会の提供を行いました。

#### 2. 実績報告

- 利用者の定員 **20** 人
- 利用登録者 39 人 (平成 31 年 3 月 31 日付)

#### ● 各月の事業実施日数及び利用者数等

	事業実施日数	在籍者数	各月の平均利用者数	新規利用者数	利用休止・中止者数
30年4月	20 日	37 人	12.6 人	0人	0人
5 月	18 目	37 人	12.6 人	0人	0人
6 月	21 日	37 人	12.9 人	1人	2 人
7月	19 日	36 人	13.0 人	1人	1人
8月	20 日	36 人	12.2 人	1人	0 人
9月	21 日	37 人	11.9 人	0人	0人
10 月	20 日	37 人	15.0 人	0人	0 人
11 月	19 日	37 人	15.0 人	1人	0人
12 月	21 日	38 人	15.0 人	0人	0 人
31年1月	18 日	38 人	14.2 人	1人	0人
2 月	20 日	39 人	14.1 人	0人	0 人
3 月	21 日	39 人	15.3 人	1人	1人
計	238 日			6人	4 人